

授業科目

介護総合演習IV

担当教員名 吉田 輝美、白野 絹子	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期b・後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

介護実習I-Cの事後指導及び介護実習IIの事前指導の科目である。実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会などによって、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。介護総合演習については、実習と組み合わせでの学習とする。

授業の目的

- 1 介護施設の業務の内容を理解し、それぞれの介護が科学的思考に基づいて提供することができていたのか、介護のプロセスを検証し実習に備える。
- 2 実習遂行に必要な知識や技術を確認し、実習において介護過程の展開を行なえるような力量を身につける。

学習目標

- 1 介護実習IIに向けての心構えが確立する
- 2 利用者の課題を明確にするための介護計画の作成、実施後の計画を踏まえた修正といった介護過程が展開できる
- 3 他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの基本となる実践力を習得する
- 4 介護過程の実践をプレゼンテーションができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	実習後指導－実習内容の振り返り	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
2	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめる。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
3	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめる。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
4	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめる。	パワーポイント作成	白野 絹子、吉田 輝美 他
5	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめたものを発表する。	プレゼンテーション	白野 絹子、吉田 輝美 他
6	実習後指導－実習記録の返却（担当教員の講評を添えて返却する）	個別面談	白野 絹子、吉田 輝美 他
7	実習前指導－介護実習?で学ぶこと、実践することを介護実習の手引きをもとにして確認する。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
8	実習前指導－実習目標と課題の記述及び個人票に必要事項を記入する。実習配属先を発表する。	個人演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
9	実習前指導－利用者とのコミュニケーション－基本的な礼儀のあり方についてロールプレイングを行う。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
10	実習前指導－認知症について基本的な知識と対応について学ぶ。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
11	実習前指導－感染症について学ぶ。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
12	実習前指導－実習時のカンファレンスの進行方法について学ぶ	DND視聴、カンファレンスの演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
13	実習前指導－実習時のカンファレンスの進行方法について学ぶ	DND視聴、カンファレンスの演習	白野 絹子、吉田 輝美 他
14	介護実習IIにおいて学びたいことや期待していること、また不安に感じていることをまとめる。	演習	白野 絹子、吉田 輝美 他

15	決意表明グループでまとめたことを発表する。巡回指導担当の教員と面接を行う	プレゼンテーション、面接	白野 絹子、吉田 輝美 他
----	--------------------------------------	--------------	------------------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート・課題提出

履修上の留意点

実習前後の連絡事項の多い授業ですので、授業の連絡事項はしっかりと聞いてください。

オフィスアワー・連絡先

相談や質問がある場合

連絡先 白野 shirono@nuhw.ac.jp